

横浜国立大学 グローバル COE 第 7 回公開講演会

日時：2008年4月11日（金）

15:00～17:00

場所：横浜国立大学 総合研究棟 S 棟 2 階

S 201B・Cゼミ室

講師：大沼あゆみ教授（慶應義塾大学経済学部）

講演題目：発展途上国の自然資本保全を促す経済的仕組み

要旨：発展途上国の自然資本は、過剰採取や他用途への転換の圧力により、著しく劣化してきた。これに対して、保全インセンティブを高める経済的な工夫が提示され、そのいくつかは実行され効果をあげてきた。しかし、一方で、バイオ燃料の価格高騰などにみられるように、保全の機会費用を高めるような経済状況の変化で保全インセンティブは大きく影響を受ける。こうした状況で、どのような市場政策を導入することが持続可能性を持つのか論じたい。

講師略歴：慶應義塾大学経済学部教授。1983年 東北大学経済学部卒業、88年同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学、同経済学部助手、東京外国語大学助教授などを経て現職。この間、ロンドン大学地球環境社会経済研究所(CSERGE) 研究員、経済学博士。翻訳書に「環境経済学入門」「はじめての環境経済学」(東洋経済新報社)、「環境経済学」(監訳、シュプリンガー・フェアラク東京)など。

開催責任者：大久保 奈弥【京大 学振 PD (前横浜国大 GCOE フェロー)】

松田裕之【本学教授】

連絡先：立川賢一

横浜国立大学環境情報研究院 グローバル COE 事務室

240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7

TEL/FAX: 045-339-4497